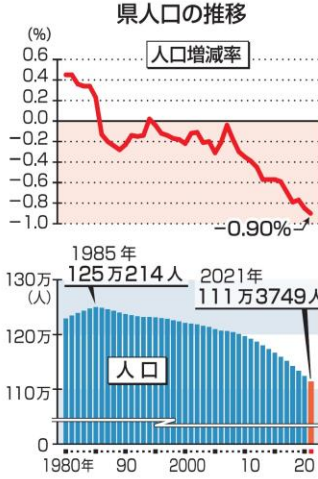




大分県の推計によると、昨年10月1日時点の県人口は111万3749人で、前年同月から1万103人(0.90%)減り、戦後最少を更新しました。

① ( )に当てはまる言葉(漢字2文字)を書いてください。  
 人口の増減数は、出生数から死亡数を差し引いた( )増減と、転入数から転出数を差し引いた( )増減を合わせた数。



21年推計

県人口最少111万人

減少幅、初の1万人

大分県の推計によると、昨年10月1日時点の県人口は111万3749人で、前年同月から1万103人(0.90%)減り戦後最少を更新した。現行の統計となった1981年以降で初めて減少幅が1万人を超えた。死者数が出生数を上回る「自然減」が拡大し、7768人減で過去最大に。少子高齢化に拍車がかかり、人口減少が加速する現状が浮かん

317人で前年から389人減った。県によると、新型コロナウイルスの感染拡大に不安を感じ、妊娠を控える女性もいた影響が考えられるという。

市町村別の人口推計	人口	減少幅
県計	1,113,749	10,103
大分市	474,926	688
別府市	113,916	1,405
津久井市	82,415	448
中津市	61,699	958
佐伯市	65,713	1,138
杵津市	35,328	830
津久見市	15,651	449
竹田市	19,858	474
豊後高田市	21,935	177
杵築市	27,343	656
宇佐市	51,952	819
豊後大野市	33,101	594
由布市	32,445	327
国東市	25,674	558
姫島村	1,674	51
日出町	27,656	67
九重町	8,350	191
玖珠町	14,113	273

人口は21年10月1日、減少幅は1年前との差

「自然動態」は死亡数を表す「自然動態」は死亡数が1万5085人で714人増えたのに対し、出生数は7

転入者から転出者を差し引いた「社会動態」は2335人の社会減となったが、減少幅は前年から縮小

県が公表した人口推計報告によると、終戦直後の1945年11月は112万4513人。最も多かったのは55年の127万7199人。その後は85年の約125万人をピークにほぼ一貫して減少し、減り幅も拡大傾向にある。昨年11月に発表された2020年国勢調査(112万3852人)で戦後最少になった。県おいた創生推進課は「出会いから妊娠・出産、子育てまでを切れ目なく支援するとともに、デジタル技術を活用した移住促進や企業誘致など、人を呼び込む方策を進めていく」と話している。

② コロナ禍が県人口に及ぼした影響について( )に当てはまる言葉を書いてください。  
 ▼「自然動態」は妊娠を控える女性もいた影響もあり( )が前年から389人減った  
 ▼「社会動態」は、技能実習生や留学生が入国できず在留( )が881人減った  
 一方、日本人は( )の機運が高まったこともあり、前年から改善した。

2022年2月16日付 大分合同新聞 1面

③ 人口減少が進むと、どのようなことが起きますか。また、どのように対応すればいいでしょうか。大分県おいた創生推進課の方策を参考に、周囲の人と話し合ってみましょう。

.....

.....

.....